

2014年も日本共産党寝屋川市会議員団は 市民のくらしを守るため全力を尽くします

昨年は、日本共産党にとって躍進の年でしたが、日本国民にとっては安倍政権の下、大きな波紋を投げかけられました。



田中市議

これからが日本共産党と国民のみなさんが一緒にがんばり時だと思っています。市政では廃プラ施設による周辺住民への健康被害解消へがんばります。私も体調を整え、みなさんと一緒に力をあわせて頑張ります。本年もよろしくお祈りします。

早いもので市議会に送っていただき19年になるうとしています。



中林市議

昨年も日本共産党の市会議員であって良かったと思える場面が多くありました。あかつき・ひばり園の指定管理の問題では保護者や関係者からいろいろ教えていただきました。市民が大切にされ、困ったときに頼れる寝屋川市役所をつくるため今年も頑張ります。

私は昨年末で65歳になり、高齢者の仲間入りをし、老人会に加入できる年齢になりました。



松尾市議

時間の許す限り、いろんな人と話し、交流を深めたいと考えています。そして丈夫で長持ち出来るよう、健康に留意したいと思います。来年は寝屋川市長・市議会議員選挙・大阪府知事・府会議員選挙の年です。公約実現・市民要求へひきつづき取り組みます。

今年は、「戦争する国づくり・憲法壊しの安倍政権」に対して、憲法を力に国民の共同で「倍返し」です。とりわけ、「特定秘密保護法」撤廃へ頑張らしましょう。4月からの消費税増税は、「社会保障のため」や「財政再建のため」の口実も通用しないものです。



中谷市議

職員と市民を犠牲に、公共責任を大きく後退させている寝屋川市政の革新、民主化も市民共同の大事業です。福祉・教育・くらし優先の「温かい市政」実現に頑張ります。

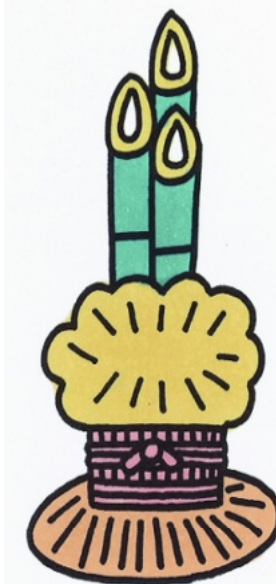


2期目の市議の任期もあと一年と少し、市民生活は未だきびしい状況にあります。



太田市議

この間、市民の声を寝屋川市へと届けてきましたが、なかなか、市民の声が通じません。未だに市役所と市民の常識の違いに困惑をします。4月からの消費税増税にたいして基礎自治体である寝屋川市が市民生活を守るために何ができるのか。しっかりと議論し運動と力を合わせて市民福祉向上へ全力を尽くします。



謹賀新年



発行
日本共産党
寝屋川市会議員団
824-1181 (内線2399)
FAX 824-7760
Email:jcpncc@cc-net.or.jp
No.2504

- 太田 とおる
高柳2-49-2
826-1664
- 田中 ひさ子
国松町10-36
823-1714
- 中林 かずえ
宝町4-33
839-2289
- 中谷 光夫
高宮2-19-5
823-5947
- 松尾 信次
下木田町12-6
821-7427

国保・介護保険料の引き下げを

太田市議が一般質問



消費税増税の負担増から 市民生活を守る施策の前進を

2013年12月 十分相談内容をお聞きする中で対応をす
 議会では太田市議は国 保・介護・生保・商 業振興などについて 一般質問をしました。 国民健康保険では、 「今年度の収支はま だ分かりませんが、 来年度市民生活がき びしくなる中で市と して国保料について どのような見通しを 持っているのか。ま た、引き下げのため の方策をどのよう に考えているのかお示 してください。」

また、「命の重み を平等に保障する制 度としての一部負担 金減免制度の柔軟な 活用を」市は「国 基準に沿った運用の もとで窓口において

「市として国に対し て介護保険制度改悪 反対の意見を上げる こと。」市は「国 の動向を注視してい きます。」とまるで 他人事のような答弁 でした。

次に「寝屋川市の 市長として市民との 約束を守るためにも 第6期の介護保険料 について市として引 き下げの努力をする ことを約束して下さい。また、介護保険 料の引き下げの財源

十分相談内容をお聞きする中で対応をす
 る」と答えました。
 しかし、国基準で は通院での医療費が 減免対象になつてい ません。そこに大き な問題があります。

選挙公約守り 介護保険料の引き下げを

介護保険では、 「市として国に対し て介護保険制度改悪 反対の意見を上げる こと。」市は「国 の動向を注視してい きます。」とまるで 他人事のような答弁 でした。

次に「寝屋川市の 市長として市民との 約束を守るためにも 第6期の介護保険料 について市として引 き下げの努力をする ことを約束して下さい。また、介護保険 料の引き下げの財源

市は「保険料につ いては適切に算出し ます。一般会計繰り 入れは考えていませ ん」と自らの選挙公 約を投げ捨て市民生 活を守る立場すら明 らかにすることがで きませんでした。

生活保護は最後の砦

申請権の保障を

生活保護では、 「親族による扶養義務が生活保護の要件

だとする違法な文書 を使って申請を締め 出している問題で、 全国1263の福祉 事務所のうち436 力所(34.5%) で違法な文書が使わ れていたことが明らかになりました。

1月から使用してお り、発件数は把握 していない。厚労省 の例示を参考に訂正 をした。」と答えま した。この間寝屋川 市は扶養照会が遅れ

ていることを理由に 保護決定の日数が延 びていたこともあり、 違法な文章を送つて いた事実は大変大き な問題です。

稼働能力の活用は

1人1人の状況に合わせ

次に、「寝屋川市 の生活保護申請時に 稼働能力の活用につ いてはどのように取 り扱われているのか」

市は「申請者の状 況に応じた就労また は求職状況より判断 していきます」と答 えました。この間、 寝屋川市においては 実状を無視をした厳

しい就労指導が行わ れています。市の丁 寧な対応が求められ ます。

「親族による扶養義務が生活保護の要件

だとする違法な文書 を使って申請を締め 出している問題で、 全国1263の福祉 事務所のうち436 力所(34.5%) で違法な文書が使わ れていたことが明らかになりました。

寝屋川市も残念な がら違法文章を使っ ていた自治体に入っ ていたと聞いていま すが、いつからその 文書を使っていたの か。どれだけの件数 送付をしていたのか を明らかにして下さい。その後、どのよ うに訂正がなされた のかを明らかにして 下さい。」

市は「平成15年

市は「保険料につ いては適切に算出し ます。一般会計繰り 入れは考えていませ ん」と自らの選挙公 約を投げ捨て市民生 活を守る立場すら明 らかにすることがで きませんでした。

